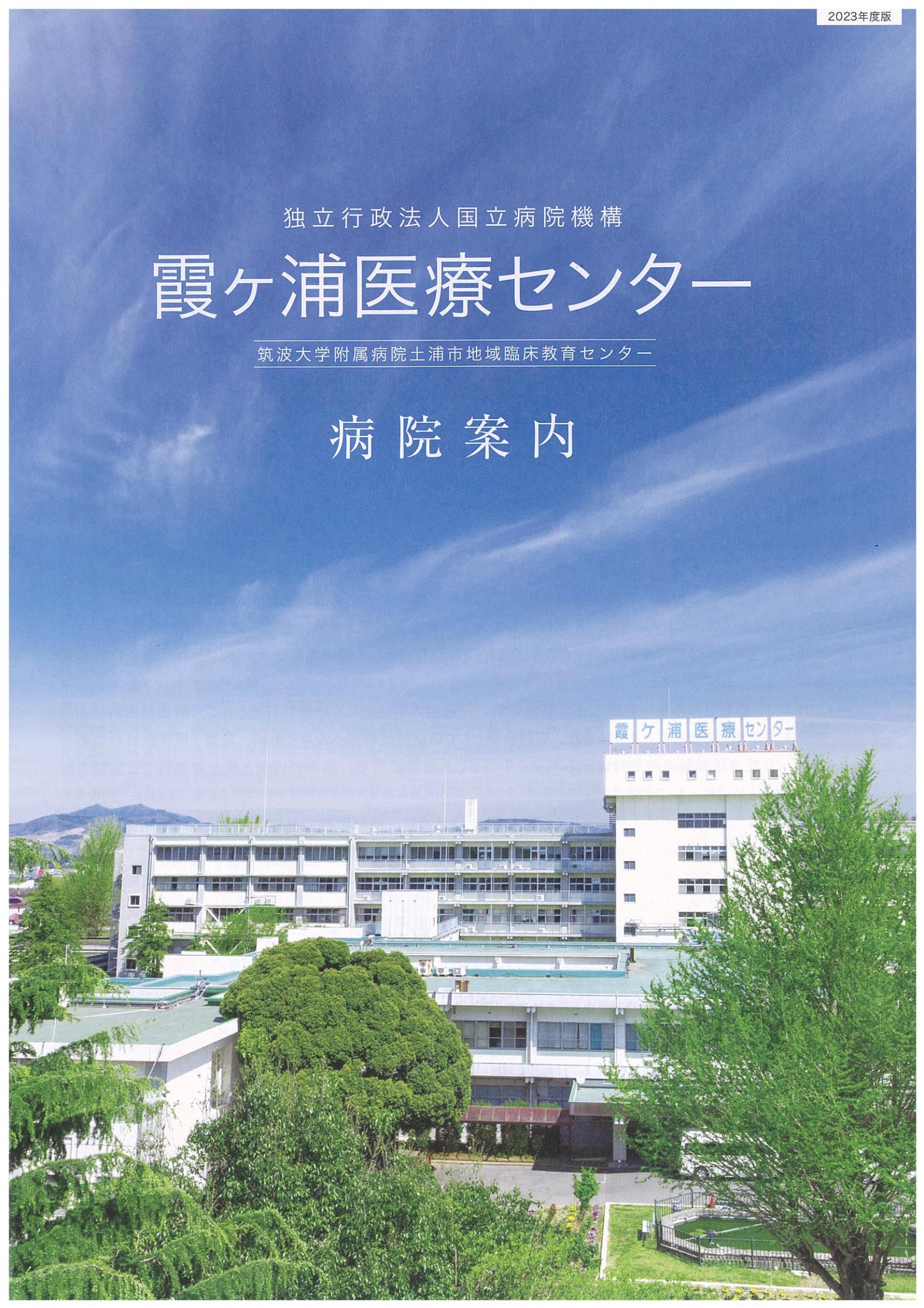


独立行政法人国立病院機構

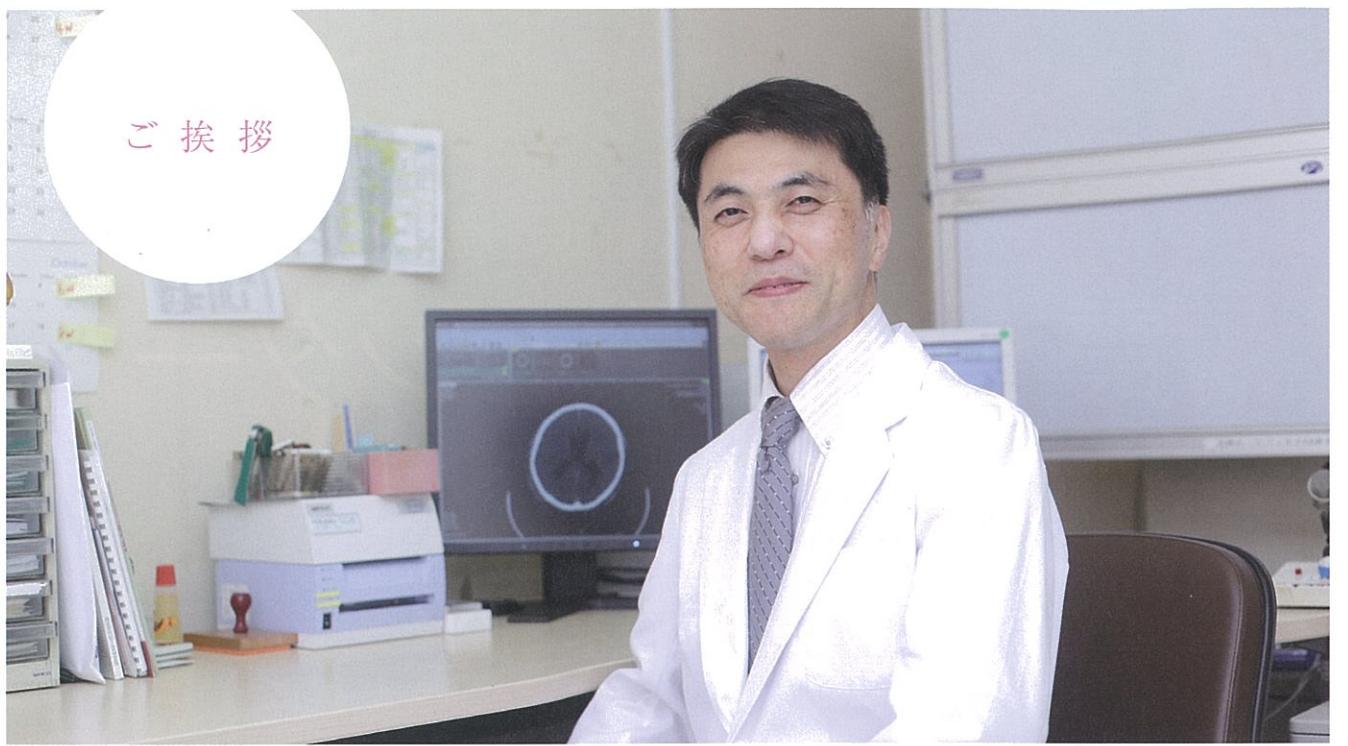
霞ヶ浦医療センター

筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター

病院案内



霞ヶ浦医療センター



ご挨拶

平成 24 年度から土浦市の寄附講座が当院に開設され、筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーションがはじまりました。そして、平成 28 年度からは大学教官 5 名体制となり、土浦市地域臨床教育センターとして現在に至っています。令和 2 年 7 月より、消化器内科教授として福田邦明先生が赴任され、新たに肝胆膵疾患センターを開設しました。

これまで患者さんの多い産婦人科、整形外科、呼吸器内科、そして口腔外科とともに、消化器内科は当院での主力診療科となっています。また、専門診療として消化器外科のヘルニア手術、乳腺・甲状腺外科の紹介増加、女性泌尿器科の特徴付け、心不全を中心とした循環器疾患、脳神経内科と総合診療科では高齢者医療も積極的に受け入れています。

当院は筑波大学の地域拠点病院としての機能を担うとともに、地域医療のために高度医療から在宅医療・介護までのマネジメントができる医療者の育成を行ってきました。新型コロナ感染症では、看護スタッフと呼吸器内科医師の皆を中心として、果敢に診療を行ってきました。ウイズコロナといわれる中、今回、当院での診療内容を冊子にまとめました。

国立病院機構は全国に 140 病院を配置し、地域医療を中心に活動しています。さらに、災害時などの非常事態への対応や政策医療などを行うとともに、大学病院と同じく臨床、教育、研究が 3 本柱です。県内唯一の医師養成機関である筑波大学と連携し、私たちは国立病院としての役割をしっかりと果たして行きたいと思います。

今後も地域の皆さんに信頼される医療機関を目指して、職員一同、より一層精進してまいります。何卒ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター
院長 鈴木 祥司

理念

私たちは
この病院に 身を寄せてこられた すべての方々に
医療を通じて 希望と力を与え
その期待と信頼に応えます

基本方針

- 1.かけがえのない一人の命を守る
- 2.誠実に対応し、最善を尽くす
- 3.現代医療の水準に合致した医療サービスを公正かつ効果的に提供する
- 4.地域に開かれた病院として、診療のみならず予防医学・福祉に寄与する
- 5.他の医療施設と連携し、平時ならびに災害時の基幹病院となる
- 6.医学及びその関連分野の教育・研究育を推進する

霞ヶ浦医療センターの 約束

- 私たちは、この病院で医療を受けられるすべての方々の権利を守るために、以下の約束を致します。
1. 知る権利を守ります。
 2. 自己決定権を守ります。
 3. 尊厳とプライバシーに関する権利を守ります。
 4. 学習権を守ります。
 5. 受療権を守ります。

施設沿革（令和 5 年 4 月現在）

- 昭和 16 年 10 月 1 日 霞ヶ浦海軍病院として創設
昭和 20 年 12 月 1 日 終戦に伴って厚生省に移管され、国立霞ヶ浦病院として 2100 床の規模で発足運営
平成 16 年 4 月 1 日 独立行政法人化し、国立病院機構の一員として霞ヶ浦医療センターと改称
平成 20 年 3 月 31 日 精神科病棟を廃止し、一般病床 250 床の病院として新たなスタートを切る
平成 20 年 5 月 30 日 地域医療支援病院認定
平成 24 年 4 月 1 日 筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション開設
平成 27 年 4 月 1 日 筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センターに格上げ
平成 28 年 7 月 1 日 西 3 病棟を地域包括ケア病棟として開棟（令和 2 年 8 月～急性期一般病棟入院料に変更）
平成 30 年 4 月 1 日 産後ケアセンター開所、筑波大学地域拠点病院（フラッグシップホスピタル）に指定
平成 31 年 4 月 1 日 茨城県肝疾患専門医療機関、茨城県肝がん・重度肝硬変治療研究促進、事業指定医療機関に指定

施設概要（令和 5 年 4 月現在）

診療科目

① 標榜う診療科目（25 科）
内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・代謝内科、血液内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科・口腔外科、病理診断科

主な指定

② 特殊専門外来
子宮腺筋症外来、家族性腫瘍外来、助産師外来、母乳外来、不整脈外来、ペースメーカー外来、禁煙外来、睡眠時無呼吸外来、甲状腺外来、ヘルニア外来、リンパ浮腫外来、乳腺・内分泌外来、乳がん検診外来、スポーツ整形外来、AGA 治療外来、女性泌尿器外来、成育外来、小児循環器外来、食物アレルギー外来、小児内分泌代謝外来、物忘れ外来、肝臓外来、肝胆膵外来

地域医療支援病院／二次救急病院群輪番制病院／茨城県がん診療指定病院／茨城県肝疾患専門医療機関／茨城県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関／臨床研修指定病院／母体保護法指定医師研修機関／筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター

敷地面積：110,304m² 建物面積建面積：13,268m² 延面積：27,175m²

病床規模
250 床（一般急性期病床）

霞ヶ浦医療
センター

総合診療科

臓器別の枠にとらわれず、患者さんのニーズに合わせた医療を提供することを心がけています。

当科の特徴

総合診療科は、現代の専門分化した医療において、臓器別の枠を超えて患者さんのニーズを満たすべく全人的医療を提供することを目的としています。また地域、患者家族、院内スタッフにおいて、健康、医療にかかる困りごとの相談窓口としての役割も担います。

当科では専門診療科に該当しない初診患者、健診異常、他科・近医からの紹介患者、救急患者などを中心に、広く診療を行っています。特に、どの科を受診したらいいのかわからない、なんなくいつもと違うけれどどこが悪いのかわからない、さまざまな症状が続いている、というような方の診断、治療または必要に応じて専門科への紹介を行っております。また地域のクリニックと連携をし、生活習慣病などの長期にわたり通院が必要な場合には、状態が安定したらかかりつけ医へ紹介しております。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

当科ではあらゆる病態に対応しており、対象疾患を制限してはおりません。幅広い健康関連の問題について初期対応しています。

- ◎原因の特定されていない症候：意識障害、体重減少、食欲不振、発熱、浮腫、めまい、リンパ節腫脹、頭痛、胸痛、腹痛、関節痛・関節腫脹、その他の痛みなど
- ◎診療科を特定できない検査異常（例：貧血、電解質異常、転移性悪性腫瘍の原発検索）
- ◎健診異常
- ◎その他、医療介護の面で支援が必要な問題など

スタッフ（令和5年4月現在）

栗原宏（総合診療科科長）

日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療専門医・指導医、

日本内科学会認定総合内科専門医・指導医



診療科のご紹介

総合診療科	5
消化器内科	6
循環器内科	7
呼吸器内科	8
脳神経内科	9
外科	10
乳腺外科	11
整形外科	12
産婦人科	13
小児科	14
形成外科	15
眼科	16
泌尿器科	17
歯科口腔外科	18
病理診断科	19
麻酔科	20
糖尿病・代謝内科・腎臓内科	21
血液内科・放射線治療科・放射線診断科・皮膚科	22
心臓血管外科・呼吸器外科・耳鼻咽喉科	23

部門のご紹介

薬剤部	24
放射線部門	25
臨床検査部門（研究検査科）	26
栄養管理室	27
リハビリテーション部門	28
臨床工学室（ME）	29
看護部	30
筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター	32
人間ドック	33
地域医療連携室のご案内	34

診療科より医療機関の皆様へ

当科では、原因がわからない、複数の合併症があるなどの紹介先の科が特定できない、あるいはどこの科にも該当しないというような症状、病態への対応を行っております。また生活習慣病などの長期にわたり通院が必要な場合には、地域でのかかりつけ通院を促進しています。相互に連携しながら、患者さんに最善の医療を提供したいと考えております。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	栗原	栗原	栗原	栗原	栗原
午 後	○栗原			○栗原（第2・4）	

※○は予約制

消化器内科

全ての消化器疾患に対するしっかりとした診療を心掛けています。

当科の特徴

消化器疾患全般（急性期疾患、慢性疾患、悪性腫瘍）に対する診療を行っております。当科スタッフ2名は筑波大学附属病院にて10年以上の勤務経験があるため、その経験を活かし専門性の高い医療をご提供出来るよう心掛けております。特に肝胆脾疾患に関してはさらに高度な医療がご提供出来る体制を整えております。また、肝癌に対する新しい肝動脈塞栓療法の臨床研究や留置スネアを用いた憩室出血治療、胆管ステントの開発など新たな治療法の開発にも携わっており、筑波大学消化器内科とも連携しながら患者さんファーストの診療を目指しております。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

- 急性期疾患（消化管出血、急性胆管炎等）
- 早期胃癌、大腸癌、食道癌に対する内視鏡治療（ESD等）
- 消化器悪性腫瘍に対する化学療法
- 肝硬変に対する専門診療、食道胃静脈瘤治療
- 肝癌に対するラジオ波焼灼術（RFA）、肝動脈化学塞栓療法（TACE）
- 胆管結石、胆道閉塞に対する内視鏡治療（ERCP）
- バルーン内視鏡を用いた小腸検査や腸管術後患者の胆管結石治療や胆道ドレナージ
- 超音波内視鏡（EUS）を用いた粘膜下腫瘍、脾腫瘍、肝腫瘍、リンパ節の診断および生検
- EUSを用いた経胃及び経十二指腸ドレナージ
- 高齢患者に対する対症療法（胃瘻造設、消化管ステント留置等）
- 健診異常精査（便潜血、ABC健診、肝障害、ウィルス肝炎、胆囊ポリープ、膵のう胞等）

スタッフ（令和5年4月現在）

福田邦明（筑波大学附属病院 土浦市地域医療教育センター 教授）

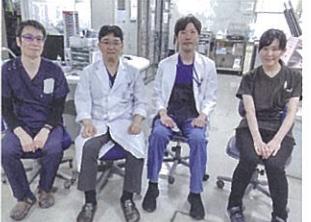
（診療）肝胆脾疾患 〈専門〉肝硬変・肝癌診療

石毛和紀（診療部長）（診療）消化器全般 〈専門〉胆脾内視鏡診療

永瀬将臣（医員）（診療）消化器全般 〈専門〉消化管疾患、内視鏡治療

重田早紀子（消化器内科レジデント）

非常勤：鈴木聰（外来）、日下部涼子（内視鏡）



診療科より医療機関の皆様へ

診療経験の豊富な医師達による質の高い診療をご提供したいと考えております。吐下血や急性胆管炎などの救急疾患につきましても積極的に受け入れを行っておりますのでいつでもご紹介下さい。また悪性疾患に対しても、内視鏡治療や化学療法など専門的な診療を行っております。今後も地域の皆様に貢献出来るよう日々努めて参りたいと考えております。消化器疾患でお困りの患者さんがおられましたら、いつでも当科にご相談下さい。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	永瀬	石毛 筑波大非常勤		石毛 福田（肝胆脾）	永瀬
午 後	○福田（肝臓）				

※○は予約制

循環器内科

連携を強化した地域全体での循環器患者の管理を目指しています。

当科の特徴

心不全の急性期には病態にあわせて人工呼吸器管理、持続静注を行い、慢性期には内服薬の調整、および開始に入院を必要とする内服薬の導入を行います。慢性心不全看護認定看護師、薬剤部を含めた多部門のチームで計画をたて、薬物治療と併せて栄養指導や外来心臓リハビリテーションの処方を行い、安心して自宅に帰れるようにしています。心房細動／粗動、上室性頻拍、心室頻拍等の不整脈に対しては、カテーテルアブレーション（経皮的心筋焼灼術）を行い、根治を目指しています。緊急を要する冠動脈疾患に関しては、緊急カテーテル治療も施行しています。肺高血圧症では、右心カテーテルの翌日には特定疾患の申請が可能となるようにスケジュールを組んでおり、重症例にはPCAポンプを使用した持続注療法を速やかに導入しています。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

- 心不全：シンチグラフィー、心臓MRI。人工呼吸器管理、強心薬・利尿薬等の持続静注。心臓リハビリテーション。
- 冠動脈疾患（狭心症／心筋梗塞）：トレッドミル運動負荷試験、冠動脈CT、負荷心筋シンチグラフィー、冠動脈造影による診断。カテーテル、大動脈内バルーンパンピングなどによる治療。
- 末梢動脈疾患：MRI、CT、下肢動脈造影による診断。カテーテルによる治療。
- 不整脈：ホルター心電図、電気生理学的検査等による診断。徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み。心房細動／粗動、上室性頻拍、心室頻拍等に対するカテーテルアブレーション。
- 静脈血栓症：超音波検査、CT、シンチグラフィー、肺動脈造影による診断。抗凝固、血栓溶解療法、下大静脈フィルターの挿入等による治療。
- 肺高血圧症：右心カテーテルによる診断。PCAポンプを使用した持続注療法を含めた肺動脈拡張薬の導入。

スタッフ（令和5年4月現在）

鈴木祥司（院長）循環器疾患一般

丸山秀和（科長・土浦市地域臨床教育センター講師）循環器疾患一般、肺高血圧症/肺塞栓症

錦井牧子（医長）循環器疾患一般、不整脈・カテーテルアブレーション

加藤穣（医長）循環器疾患一般、心臓リハビリテーション

非常勤：榎本真美（外来）、小松雄樹（不整脈外来、カテーテルアブレーション）



診療科より医療機関の皆様へ

高齢化に伴い心不全患者の劇的な増加が予測されます。茨城県でも筑波大学を中心に病診連携をもとにした地域全体での患者管理を計画しています。当院でもクリニックの先生方に協力していただき、患者さんのQOLがより高くなるように、遗漏なくかつ簡潔な患者紹介・情報交換などのネットワーク構築ができればと考えております。不整脈疾患に対しては、カテーテルアブレーションを積極的に取り入れ、根治を目指した治療を行っています。急性冠症候群が疑われる場合には、常勤医師の勤務時間内にご連絡いただければ、時間外でも緊急カテーテルを行っています。心不全をはじめとして複数の治療に参加しており、既存の治療法で効果の認められない病状への介入を目指しています。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	榎本	鈴木	丸山	榎本	○【ベースメーカー】榎本 第2・4週 ○錦井 第1・3・5週
午 後			○錦井	○【不整脈外来】 小松 第1・3・5週	加藤 ○【不整脈外来】小松 第3週

※○は予約制

呼吸器内科

呼吸器疾患全般、アレルギー疾患、感染症に幅広く対応しています。

当科の特徴

呼吸器疾患は種類が多く、その中には難治性疾患・稀少疾患も多く含まれます。一部のアレルギー疾患や感染症も呼吸器内科の診療範囲です。これら幅広い疾患に対応し、最新の医療を全ての患者さんに均質に提供できるよう、検査や治療の体制を整えています。喘息やCOPDの診断精度向上や緻密なフォローアップのため、通常の肺機能検査に加え、気道抵抗測定（モストグラフ）や呼気一酸化窒素濃度を測定しています。難治性喘息に対するバイオ製剤の豊富な使用経験とともに、内視鏡治療として気管支熱形成術（気管支サーモプラスティ）を県内で唯一行っています。気管支ナビゲーションシステムや、超音波内視鏡によるエコーガイド下生検（EBUS-TBNA、EBUS-GS）を駆使し、縦隔リンパ節や微小結節病変の診断精度向上に努めています。気管支鏡で診断に至らない末梢病変に対するCTガイド下生検や、胸膜病変に対する局所麻酔下胸腔鏡検査も全て自科で行っています。2021年度より、びまん性肺疾患に対する気管支鏡診断のため、クライオバイオプシーを導入しました。抗癌治療を行う患者さんの治療機会の選択を増やすべく2016年より開始した外来化学療法は年々着実に増加しています。2023年度には気道過敏性試験（アストグラフ）を導入致します。今後も当院を受診される患者さんに満足していただけるよう、安全管理を徹底し、最新知識を共有し、技術の研鑽に励んでいきたいと思います。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

◎呼吸器疾患

全般に対応しています。

◎アレルギー疾患

気管支喘息（難治性喘息に対し、県内で唯一気管支熱形成術を行っています）

アレルギー性鼻炎（スギ花粉、ダニの舌下免疫療法を行っています）

食物アレルギー、アナフィラキシー（エピペン処方可能）

◎感染症

HIV感染症（茨城県エイズ拠点病院であり、自立支援医療機関です）

結核（外来診療のみ対応可能）

COVID-19、など

スタッフ（令和5年4月現在）

菊池教大（統括診療部長）

阿野哲士（筑波大学付属病院土浦市地域臨床教育センター講師）

三枝美智子（医長）

重政理恵（医員）

茂手木壽明（医員）

谷田貝洋平（非常勤医師）



診療科より医療機関の皆様へ

COVID-19流行の際には一般呼吸器疾患の診療が制限されたこともあり、地域の医療機関の皆様にはご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。第7波収束に伴い、呼吸器内科は通常診療に戻りましたので、今までにも増して病診連携、地域連携に力を入れていきたいと思います。診断や治療でお困りの症例がありましたら、紹介いただければ幸いです。地域の医療機関の皆様を対象にミニリクチャーや症例検討を行う場として、霞ヶ浦呼吸器医療連携懇話会を年2回開催しています。今後も日常診療に即したテーマを用意いたしますので、是非ご参加ください。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	重政	谷田貝	菊池 茂手木	重政	菊池 阿野
午 後	○菊池	阿野 谷田貝	○菊池	○三枝（睡眠）	○菊池

※○は予約制

脳神経内科

一見して奇妙な症状、神経疾患かもしれません。

当科の特徴

現在日本は未曽有の超高齢化社会に突入しています。そうした中で、脳卒中、認知症、パーキンソン病といった老年期を中心に発症する疾患に対する社会的ニーズは増大する一方です。また、それらの疾患による個々人の生活の質への影響は大きく、ひいては社会全体にもたらすインパクトは計り知れません。神経内科はこれらの疾患に対する診療を広く担っています。また、神経内科領域には診断や治療の難しい、国指定の難病とされる疾患も多く含まれることが特徴です。そのような疾患に対しては、筑波大学付属病院神経内科と連携を取り、スムーズな紹介が可能です。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

<幅広い症候に対応>

神経内科は神経系の総合診療とも言われ、主要な症候は多岐にわたり、意識障害、認知症、けいれん、頭痛、めまい、失神、構音障害、歩行障害、筋力低下、筋萎縮、不随意運動、運動失調、感覚障害、錐体外路症状、高次機能障害などがあげられます。最新の設備を使用しての治療といった派手さはありませんが、あくまでも患者さんと向き合い、症状の評価と正確な診断に努めています。特に一見してどの診療科かわからぬような症状を呈する場合もあり、お困りの際は神経内科にご相談ください。

<認知症診療をサポート>

当科常勤医は認知症サポート医を取得しています。認知症の診断についてのご相談や、周辺症状のコントロールなどにも対応いたします。特に物忘れ外来も開設しており、地域での認知症診療に注力しています。

<脳ドック>

当院では週2日、脳ドックを行っています。加齢とともに脳卒中や認知症などを心配される患者さんは多くおられます、そういう地域のニーズに対応いたします。

スタッフ（令和5年4月現在）

遠坂直希（医員）

（診療）神経内科全般



診療科より医療機関の皆様へ

認知症や脳卒中などの神経疾患は今後ますます増加が見込まれます。脳卒中などの救急対応が必要な疾患などもいつでも対応いたしますので、お気軽にご相談ください。また、認知症サポート医として、地域の認知症診療にも積極的にかかわっていきたいと考えております。診断・治療で難渋する場合は、ぜひご相談ください。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	筑波大学医師	○【物忘れ外来】 遠坂			遠坂
午 後				○遠坂	

※○は予約制

外科

地域医療の困りごとを解決できる外科を目指しています。

当科の特徴と診療内容（診療実績を含む）

- ◎大腸癌、胃癌、脾癌の外科手術を行います。手術適応でない場合は消化器内科と連携の上、適切な治療を行います。
- ◎鼠径部ヘルニアの手術は岡崎医師の専門です。再発ヘルニアなど困難症例にも対応します。全身状態が良くない場合は局所麻酔で手術を行います。2012年より鼠径部ヘルニアに対する腹腔鏡下手術を開始し、これまで500例を超える実績を有しています。他の腹部ヘルニア（腹壁瘢痕ヘルニア、閉鎖孔ヘルニア、食道裂孔ヘルニアなど）にも対応します。ヘルニア外来（月曜午前）を開設しています。
- ◎急性腹症を呈する急性胆囊炎、急性虫垂炎、消化管穿孔、腸閉塞などの外科的治療が必要な疾患に対応します。急性腹症の中でも総胆管結石やS状結腸捻転などの内視鏡治療が可能な疾患であった場合は速やかに消化器内科と連携をとり、対応します。
- ◎内痔核に対する注射治療を行っています。

手術実績

主な手術の実施件数 (内腹腔鏡手術)	胃癌切除	大腸癌切除	虫垂切除術	腸閉塞手術	肝切除	胆囊摘出術	脾切除	腹部ヘルニア	肛門疾患	腹膜炎手術
2022年度	8	45(5)	14(13)	5(2)	0	37(36)	1	108(87)	3	8(1)
2021年度	15	47(4)	9(8)	7	0	40(34)	2	77(58)	1	4
2020年度	9	31(4)	13(10)	15	0	26(21)	3	109(90)	5	3
2019年度	14	36(2)	10(10)	11	1	33(28)	0	108(67)	1	5
2018年度	11	49(5)	24(12)	21	3	34(28)	0	91(69)	7	3

スタッフ（令和5年4月現在）

岡崎雅也（消化器外科部長）

（資格）外科専門医・指導医、消化器外科専門医・指導医、消化器内視鏡専門医

（専門）消化器外科、一般外科、腹部ヘルニア

山田嵩宜（外科医師）

（資格）外科専門医

海江田和泉（外科医師）

非常勤：影山隆久（外来）

診療科より医療機関の皆様へ

急性腹症や消化器癌に対して、消化器内科との緊密な連携の上、診療にあたっております。特に腹部ヘルニアに関しては県内有数の実績と経験があり、困難症例にも対応可能との自信があります。お困りの際は是非、ご相談いただきたいと思います。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	【ヘルニア外来】岡崎(雅) 海江田		岡崎(雅)	影山	山田
午 後					

乳腺外科

乳腺・甲状腺疾患に対して患者さんに寄り添った診療を心がけています。

当科の特徴

乳腺・甲状腺疾患に対する診療を行っております。乳腺領域については日本乳癌学会認定の乳腺専門医が常勤1名、及び筑波大派遣の非常勤外来医師2名の体制で関わっており、手術・薬物治療ともに筑波大学附属病院や県内外の乳癌診療専門施設での勤務経験を生かした専門性の高い診療を行っております。当院形成外科専門医と連携の上で乳房同時再建にも対応しています。甲状腺疾患については、甲状腺腫瘍・バセドウ病・副甲状腺腫瘍に対する手術の他、抗甲状腺薬やバセドウ病の放射性ヨード内用療法といった薬物治療も対応しております。状況に応じて筑波大学附属病院乳腺甲状腺内分泌外科と連携しながら、患者さんにとって最善の診療を一緒に考えてまいります。また、乳がん検診外来を開設しており、しこりなどの自覚症状がない方にはこちらの外来でマンモグラフィ・超音波を用いた検診を行っております。読影には日本乳がん検診精度管理中央機構認定の読影医師が携わっており、比較読影により不要な侵襲検査を避けるように心がけています。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

乳がん検診外来

- ◎自治体クーポン持参あり・なしのいずれも対応可能（対応可能日は予約時に確認ください）
- ◎乳房痛のみの方、しこりや皮膚変化がない方が対象（しこりや皮膚変化がある場合は医師の診察が必要となるため、通常外来へご紹介ください）
- ◎検査結果はご自宅へ郵送

乳腺疾患（2021年乳癌手術件数：55件、2022年乳癌手術件数：52件）

- ◎マンモグラフィ、乳房超音波を用いた乳房腫瘤の診断
- ◎穿刺吸引細胞診、針生検、または超音波ガイド下吸引式組織生検による組織診断
- ◎乳癌に対して乳房MRIを用いた切除範囲の診断
- ◎形成外科専門医と連携し同時（または後日）乳房再建にも対応（2021年同時再建：4件、2022年同時再建：10件）
- ◎ガイドライン・最新の臨床試験データに基づいた薬物治療
- ◎乳癌手術の他、良性腫瘍に対する手術希望の方にも対応します
- ◎乳腺炎に対する加療（授乳期のうつ滞性乳腺炎は母乳外来と連携します）

甲状腺疾患（2021年手術件数：28件、2022年手術件数：29件）

- ◎甲状腺腫瘍に対する超音波診断、穿刺吸引細胞診による診断
- ◎甲状腺機能異常（バセドウ病、橋本病、破壊性甲状腺炎）に対する内科治療
- ◎甲状腺癌を含む甲状腺腫瘍、バセドウ病・副甲状腺腫瘍に対する手術加療
- ◎甲状腺癌術後の外来放射性ヨウ素内用療法
- ◎バセドウ病に対する外来放射性ヨウ素内用療法

スタッフ（令和5年4月現在）

【常勤医】田地佳那（乳腺・甲状腺外科科長）

【非常勤】八代享 甲状腺診療担当

岡崎舞 乳がん検診外来担当、乳腺・甲状腺診療担当

和栗真愛 乳腺・甲状腺診療担当



診療科より医療機関の皆様へ

ガイドラインや最新の情報に基づきつつ、患者さんに対して寄り添った診療をご提供したいと考えております。乳腺・甲状腺領域の気になる症状がございましたら、いつでもご紹介ください。また非常勤医師との連携を密にしておりますので、どのような症例でも常勤枠に限定せざる紹介下さい。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	(手術日)	○八代(非常勤・甲状腺) ○田地(初診・予約のみ)	田地	田地 筑波大医師	○八代(非常勤・甲状腺) (手術日)
午 後	(手術日)	○乳癌検診	○乳癌検診	筑波大医師	(手術日)

※○は予約制

整形外科

整形外科のほぼ全領域の疾患に対する診療を行っています。外来診療に加え、救急車を積極的に受け入れています。

当科の特徴

常勤スタッフ5名は全員整形外科専門医であり、一般的な外傷・疾患の診療に加え、それぞれの専門領域の専門性の高い診療を行っています。骨粗鬆症および関連骨折の治療を積極的に行っており、また、その他の専門領域の疾患に対しては非常勤スタッフが対応できるようにしています。当院で対応できない難治例に対しては、筑波大学整形外科と連携しています。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

- 一般外傷の治療
- 骨粗鬆症の評価と薬物療法
- 脊椎椎体骨折・大腿骨近位骨折など骨粗鬆症関連骨折の治療
- 手根管症候群・肘部管症候群など末梢神経障害による手のしびれ・麻痺に対する治療
- 腱鞘炎に対する治療
- 母指CM関節症まで手指変形に対する治療
- 膝半月板損傷に対する内視鏡手術
- 変形性膝関節症に対する人工関節手術
- 肩腱板断裂に対する内視鏡手術・人工関節手術
- 反復性肩関節脱臼に対する内視鏡手術
- 変形性股関節症に対する人工関節手術
- 腰椎椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症などに対する腰椎手術
- 頸椎椎間板ヘルニア・頸椎症性脊髄症などに対する頸椎手術
- スポーツ外傷・障害に対する治療

スタッフ（令和5年4月現在）

【常勤医】 西浦康正（筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター教授）〈専門〉手・肘・末梢神経

青戸克哉（外科系診療部長）〈専門〉膝・スポーツ

牧原武史（医長）〈専門〉肩関節

吉沢知宏（医長）〈専門〉股関節

照屋翔太郎（医員）

【非常勤医】 田中健太〈専門〉足・スポーツ

三浦紘世〈専門〉脊椎

俣木健太朗〈専門〉脊椎



診療科より医療機関の皆様へ

整形外科疾患でお困りの患者さんがいらっしゃったら、いつでもご紹介ください。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午前	吉沢知宏 (股関節)	西浦康正 (手・肘・末梢神経)	田中健太 (足)	吉沢知宏 (股関節)	西浦康正 (手・肘・末梢神経)
	牧原武史 (肩)	青戸克哉 (膝)	俣木健太朗(脊椎)	青戸克哉(膝)	牧原武史(肩)
午後		○青戸克哉 (スポーツ整形)		○青戸克哉(スポーツ整形)	
		○青戸克哉 (スポーツ整形)		三浦紘世(脊椎)	

※○は予約制

産婦人科

添えた手を離さない。どんな疾患も丁寧に診療いたします。

当科の特徴

当科では、「高周波切除器を用いた腺筋症核出術」を行っており、日本全国の病院から子宮腺筋症の患者さんの紹介があります。この手術を通じて磨いた経験や技術は他の手術にも生かされており、その効果と評判で近隣医療施設からは高い信頼をいただいております。手術が必要な患者さんを多数ご紹介していただいており、子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの悪性疾患から子宮筋腫・子宮内膜症・子宮脱などの良性疾患に至るまで、その手術件数は年間700件に達しております。最近は、従来の開腹手術に加えて、腹腔鏡下手術にも力を入れております。当科は周産期専門医も擁しており、通常妊娠からハイリスク妊娠（婦人科手術後妊娠・切迫早産など）に至るまで、幅広い妊産婦を管理しております。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

婦人科

○良性腫瘍（子宮筋腫・子宮腺筋症・卵巣囊腫）子宮・卵巣の温存希望には可能な限り対応します。

○悪性腫瘍（子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌・他）

○腹腔鏡手術 悪性腫瘍（早期の子宮体癌）や比較的大きめな良性腫瘍でも、対応可能です。

○生殖医療（タイミング指導・人工授精・卵管造影検査）

○骨盤臓器脱（手術療法・ペッサリー治療・過活動膀胱治療）

○家族性腫瘍外来（家族性腫瘍が疑われる患者さんの診療）

産科

○周産期専門医を含む常勤医6名で対応しています。

○必要時は、麻酔科医や小児科医と連携して出産に臨みます。

○多くの診療科をもつ総合病院である特徴を生かし、各種合併症（喘息・糖尿病・高血圧など）を持った妊産婦の周産期管理が可能です。

○婦人科手術後妊娠（子宮腺筋症核出術や子宮筋腫核出術）・切迫早産などのハイリスク妊娠の管理を行っています。

○入院助産制度における助産施設に認定されているため、該当する妊産婦の分娩を受け入れています。

○もちろん、通常の妊娠、里帰り分娩も常時、お受入れしております。

スタッフ（令和5年4月現在）

西田正人（名誉院長）専門：婦人科腫瘍・不妊症・生殖器奇形・子宮内膜症・子宮腺筋症

新井ゆう子（副院長）婦人科腫瘍専門医・細胞診指導医・女性医学会専門医・母体保護法指定医



市川良太（婦人科部長）婦人科腫瘍専門医・母体保護法指定医

永井優子（産科部長）周産期専門医・J-MELSインストラクター・新生児蘇生法「専門」インストラクター

坂中都子（医長）腹腔鏡技術認定医・婦人科腫瘍専門医

星野沙也加（医員）

大和田真樹子（医員）

非常勤：河野圭子、市川喜仁

診療科より医療機関の皆様へ

平素より患者さんをご紹介いただき、誠にありがとうございます。近隣の産婦人科施設からの紹介ももちろんですが、腹部膨満・不正性器出血・腹痛・腰痛といった症状から婦人科疾患の可能性を疑われ、産婦人科以外の施設から紹介いただくケースも最近特に増えてきており、大変ありがとうございます。紹介いただいた患者さんを大切に扱い、受診された際のお返事から治療された際のご報告まで、しっかりと行っていくことをお約束いたします。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

婦人科

	月	火	水	木	金
午前	第1・3・5 坂中	市川	新井 (受付10時迄)	星野 (最終週以外)	▲西田
	第2・4 永井		○市川	坂中 (最終週のみ)	○新井
午後	○星野	○新井	○坂中	○永井	○河野
	○市川	○西田		○HPVワクチン 外来	
午後	○家族性腫瘍 外来	○子宮腺筋症 外来		○HPVワクチン 外来	

注) ○は完全予約制、▲は初診の方は紹介状持参の方のみ、予約外の受付不可

産科

	月	火	水	木	金
午前	新井				市川
午後	担当医 交代制			担当医 交代制	担当医 交代制
14時～		○助産師 外来		○助産師 外来	

小児科

地域に根ざした開業医のような病院小児科です。

当科の特徴

産科併設の病院ですので、周産期医療と一般小児科の両方を行っています。常勤医1名の小児科ですが、筑波大学小児科の支援を受けて、全ての土日祝日に午前中に小児救急外来を行っています。また非常勤医師により、循環器疾患、内分泌疾患の専門外来を行っています。新生児の頃から継続して同じ医師が子どもの成長を見守り続けているため、ご家族とは強い絆が生まれます。患者さんだった女児が成人して出産し、その子どもをまた当小児科につれてくることもあります。患者さん向けの医学情報発信として、毎月ミニコミ誌「どんぐり通信」(A4版)を発行しています。

対応疾患と診療内容(診療実績を含む)

- 一般小児科として、通常の外来診療、予防接種、乳児健診を行っています。
- 毎月第1と第3金曜日に小児循環器外来を行い、先天性心疾患などの診療を行っています。
- 毎月第2水曜日に小児内分泌外来を行い、低身長、夜尿、思春期早発などの内分泌疾患の治療を行っています。
- 毎月第2と第4金曜日に食物アレルギー外来を行い、食物負荷試験などの食物アレルギーの診断、エピペン処方、ダニアレルギーとスギ花粉症に対する舌下免疫療法などを行っています。

スタッフ(令和5年4月現在)

山口真也(小児周産期診療部長) リバプール熱帯病学校 小児熱帯病マスター

〈診療〉小児科一般 〈専門〉ウイルス感染症疫学、アレルギー疾患

診療科より医療機関の皆様へ

一般小児の入院病床もありますので、1人小児科で対応できる範囲の2次医療までは対応させていただきます。平日は午後5時15分から7時まで、土日祝日は午前9時から12時まで、小児急患対応を行っていますので、必要な際はご用命下さい。

外来スケジュール(令和5年4月現在)

	月	火	水	木	金
午 前	山口	山口	山口	山口	山口
午 後	○予防接種 ○成育外来	○予防接種 ○乳児健診 第2水曜は除く	○予防接種 ○乳児健診	○第1・第3 循環器外来 (田口)	○第2・第4 食物アレルギー外来 (山口)
16:15～ 17:00	山口	山口	山口	山口	山口

※○は予約制

形成外科

筑波大学形成外科と連携してスピード感のある治療を心がけています。

当科の特徴

形成外科は、体表の様々な腫瘍・外傷・醜形・色調異常などによる機能的・整容的障害に対して治療を行う診療科です。当院では皮膚・軟部良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍、外傷、熱傷、瘢痕修正、ケロイド、頭頸部再建、乳房再建、慢性創傷、眼瞼下垂、顔面神経麻痺等を取り扱っています。常勤医1名と非常勤医師1名の体制ですが、必要に応じて筑波大学形成外科と連携して手術にあたっています。患者様満足度の高い治療を目指し、整容面に配慮したスピード感のある治療を心がけております。

対応疾患と診療内容(診療実績を含む)

- 皮膚・軟部良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍に対する切除術(化学療法は筑波大学へ紹介)
- 顔面骨骨折(陳旧性骨折は筑波大学へ紹介)
- 体表面の外傷に対する外科的治療
- 熱傷に対する保存治療および外科的治療(全身熱傷・気道熱傷例は筑波大学へ紹介)
- 瘢痕修正、ケロイド
- 頭頸部再建、乳房再建(筑波大学形成外科と連携して当院で手術を実施)
- 慢性創傷に対する保存治療および外科的治療
- 眼瞼下垂症(先天性眼瞼下垂症にも対応可)、睫毛内反症、下眼瞼外反症
- 顔面神経麻痺

上記以外でも体表面に関することはお気軽に問い合わせください。

スタッフ(令和5年4月現在)

【常勤医】阿部加代子(医員)日本形成外科学会 専門医

【非常勤】佐々木薫 筑波大学附属病院 形成外科 講師

日本形成外科学会 専門医・領域指導医



診療科より医療機関の皆様へ

「霞ヶ浦医療センターに紹介して良かった!」と思っていただけるように結果にこだわって治療にあたっています。女性の乳房や外陰部の症例など、患者さんのご希望に応じて女性医師が対応いたします。現状では診療時間外の対応にやや課題があることは否めませんが、できる限りお答えできるよう努めてまいります。皮膚外科症例、外眼部疾患等も含めて体表面に関することはお気軽にご相談いただけますと幸いです。

外来スケジュール(令和5年4月現在)

	月	火	水	木	金
午 前	佐々木				阿部
午 後				阿部	阿部

眼科

全ての眼疾患に対して丁寧な診察・説明・治療を心掛けています。

眼科

当科の特徴

常勤医2名の体制で、眼科疾患であれば急性期から慢性期まで全て診療させて頂いています。平日午前中は一般外来、午後は手術関連や特殊外来・検査・処置となっており、基本的に休診日はありませんので、午前中の一般外来はいつでも受診可能です。午後につきましても可能な限り対応させて頂きますので、何かありましたらぜひお気軽にご相談下さい。当院での施行が困難な特殊な手術症例などは、筑波大学附属病院等と緊密な連携をとって対応させて頂きますのでご安心ください。患者さんの主訴を大事にする中で、丁寧な診療・説明を行い、個々のライフスタイルなども考慮し何がベストな治療法なのかということを、患者さんと一緒にになって探していくべきだと思いつながら日々診療にあたっております。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

眼科疾患全般の診療を行っています。白内障や緑内障、ドライアイといったcommon diseaseから、網膜疾患や角膜感染症、視神経疾患といったやや専門的な疾患にも対応しております。病院自体は古いですがOCTなどの診断機器の多くは先端の機器を導入しており、視神経疾患や眼窩底骨折などが疑われる際は緊急でのCTやMRI検査も積極的に活用しています。また、糖尿病網膜症等へのレーザー治療や黄斑疾患への抗VEGF薬硝子体注射、眼瞼痙攣へのボトックス注射などは外来で行っており、視神経疾患へのステロイドバルス療法や重度の眼感染症などでは入院での点滴治療も行っています。

手術は、白内障手術を中心に眼瞼下垂や翼状片などの外眼手術を合わせて年500件以上行っており、手術件数も年々増加傾向です。入院手術・日帰り手術のどちらも可能で、患者さんのご希望に合わせて選択して頂いています。

スタッフ（令和5年4月現在）

高橋幸輝（診療科長）

（診療）眼科疾患全般 〈専門〉白内障、前眼部疾患、外眼疾患

飯岡葵（医員）

（診療）眼科疾患全般

診療科より医療機関の皆様へ

当科では、迅速かつ丁寧な診察・治療、患者さんへのわかりやすい説明をモットーに日々の診療を行っています。患者さんが何か眼の症状をおっしゃっている際や、糖尿病等の全身疾患における眼合併症のチェックなど、眼に関することであればどんなことでも構いませんので、ぜひお気軽にご紹介下さい。微力ではありますが地域医療に少しでも貢献できるよう精一杯尽力していく所存ですので、今後とも何卒よろしくお願ひいたします。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	高橋 飯岡	高橋 飯岡	高橋 飯岡	飯岡	高橋
午 後	手術 ○特殊検査処置	手術 ○特殊検査処置	○術前検査 ○特殊検査処置	○特殊検査処置	○術前検査 ○特殊検査処置

※○は予約制

泌尿器科

女性患者さんも受診しやすい泌尿器科です。

泌尿器科

当科の特徴

当科の特徴は女性泌尿器科疾患を扱う専門外来を開設していること、また専門外来、一般外来とも女性医師による外来診療を行っており女性患者さんが受診しやすいことです。排尿・蓄尿障害の診療にも力を入れており、尿流動態検査など専門的な検査や前立腺肥大症の手術も対応可能です。その他泌尿器科疾患全般の診療では筑波大学附属病院や国際医療福祉大学成田病院とも連携しながら個々の患者さんに合わせた様々な治療方法をご提案しております。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

女性泌尿器科専門外来

○骨盤臓器脱：手術、ペッサリーなど個々の患者さんの状況と希望に合わせた治療法をご提案しております。排尿・蓄尿症状を伴う骨盤臓器脱も泌尿器科医が対応します。

○腹圧性尿失禁：手術、骨盤底筋訓練指導を含めた行動療法など、専門的治療を行っております。骨盤底筋訓練の指導を希望される方は女性スタッフが丁寧に個別指導いたします。2023年度より頻尿・尿失禁の治療機器を導入しました。

間質性膀胱炎：診断から治療まで行っており、ハンナ型間質性膀胱炎手術、DMSO膀胱内注入療法なども行います。原因不明の骨盤痛や難治性頻尿の方がいらっしゃいましたらご相談ください。

過活動膀胱：薬物療法だけでなく、行動療法やボツリヌス毒素膀胱壁内注入療法も行います。薬物療法で効果がなかった方、有害事象で内服を継続できなかった方もぜひご相談ください。

下部尿路症状（排尿困難、尿失禁、頻尿など）：当院では尿流動態検査など専門的な検査も行っております。薬物療法だけでなく、行動療法や手術療法など様々な治療法に対応しております。

癌診療全般：前立腺癌、膀胱癌、腎癌、精巣腫瘍などの診断および治療。大学病院と連携することで様々な治療に対応しております。

検診異常精査（PSA高値、尿潜血、超音波検査異常等）

スタッフ（令和5年4月現在）

【常勤】 鈴木正彦（泌尿器科部長）〈診療〉泌尿器科全般 〈専門〉泌尿器疾患全般

和久夏衣（泌尿器科医長）〈診療〉泌尿器科全般、女性泌尿器科外来 〈専門〉女性泌尿器科疾患、排尿機能、泌尿器科疾患全般

【非常勤】 宮崎淳（国際医療福祉大学医学部 腎泌尿器外科学主任教授）

高橋嶺央（筑波大学 腎泌尿器外科）



診療科より医療機関の皆様へ

当科は女性泌尿器科専門外来の開設、女性医師の外来診療など、女性患者さんにも受診しやすい泌尿器科を目指しております。尿トラブルに悩む女性患者さんがいらっしゃいましたら当院へご相談ください。性別を問わず排尿・蓄尿障害の専門的診療も行っており、特に間質性膀胱炎や過活動膀胱などの疾患に関しては積極的に新しい治療法を取り入れておりますので、難治性の骨盤痛、頻尿、過活動膀胱などもご紹介ください。

上記以外にも泌尿器科疾患全般に対応いたします。大学病院等との連携もあり個々の患者さんに合わせた治療をご提案するよう心がけておりますのでまずは当科へご相談ください。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	鈴木 ○女性泌尿器科外来		手術日		○鈴木
午 後		高橋			宮崎

※○は予約制

歯科口腔外科

開設以来「いつでも安心して気軽に紹介できる」を心がけております。

当科の特徴

霞ヶ浦医療センター歯科口腔外科は、平成19年1月に新設され、令和5年度で開設17年目を迎えます。現在では地域の多くの医療機関の先生方よりご紹介を頂けるようになり、令和4年度の紹介患者は1,700人以上まで増え、この分野での地域の中核施設としての評価を頂けるようになりました。茨城県内では数少ない日本口腔外科学会の研修施設としての認定も受けております。抜歯などの比較的簡単な処置から高度な技術と専門知識が必要な悪性腫瘍の治療に至るまで、口腔外科の専門知識と技術を持ったスタッフが丁寧に対応致します。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

- ◎抜歯など口腔領域の小手術
- ◎口腔領域の炎症性疾患
- ◎口腔腫瘍（悪性腫瘍、良性腫瘍）
- ◎歯科インプラント治療
- ◎顎面外傷
- ◎顎関節症、口腔顎面痛
- ◎口腔粘膜疾患（口内炎、ヘルペス等）、舌痛症、口腔乾燥症
- ◎口腔ケア治療
- ◎嚥下内視鏡検査および摂食嚥下リハビリテーション

スタッフ（令和5年4月現在）

吉田俊一	日本口腔外科学会専門医・指導医、日本がん認定医機構 認定医（歯科口腔外科）、 日本口腔腫瘍学会暫定口腔がん指導医、慶應大学付属病院歯科口腔外科 客員講師、 東京歯科大学口腔外科学講座 非常勤講師、がん・感染症センター都立駒込病院歯科口腔外科非常勤医員、 日本口腔外科学会代議員、日本有病者歯科医療学会評議員、歯学博士 (専門) 口腔外科一般、口腔悪性腫瘍
荒木大輔	日本口腔外科学会認定医
小池将人	日本口腔外科学会認定医 日本有病者歯科医療学会認定医

診療科より医療機関の皆様へ

う蝕、歯周病治療などの一般歯科治療は行っておりませんが、顎顔面領域の外傷や急性炎症など緊急性が高いと判断される口腔外科的な処置が必要な症例は、24時間オーケル体制をとっておりますので随時診察が可能です。

多くのご紹介を頂いている抜歯に関しては、患者さんのご希望があれば状況にもよりますが初診当日に抜歯を行うことも可能です。また、不安や嘔吐反射の強い方、基礎疾患のある方に関しては、入院下にて静脈内鎮静法や全身麻酔下での処置にも対応しております。口腔領域の腫瘍に関しては、経験豊富な専門医が治療にあたります。特に舌癌や歯肉癌などの悪性腫瘍に対しては手術、化学療法、放射線治療を組み合わせて治療をおこない良好な実績をあげています。そして県内では治療施設が限られる進行口腔癌の治療も、筑波大学の経験豊富な形成外科医と連携し術後のQOLを重視した手術を行っています。インプラント治療は、骨移植やサイナスリフトなどの高度な治療が必要な難症例に対しても、口腔外科学会専門医が対応いたします。

2021年6月より、当科の歯科医師を中心とした摂食嚥下サポートチームを結成しました。言語聴覚士、摂食嚥下認定看護師とともに飲み込みに不安のあるかたに摂食嚥下検査や、個々に応じたリハビリテーション、食事サポートを提供できるようになりました。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	吉田 荒木 小池	吉田 荒木 小池	※吉田 荒木 小池	吉田 荒木	吉田 荒木 小池
午 後	手術日	吉田 荒木 小池	※吉田 荒木 小池 ○小林	吉田 荒木	吉田 荒木 小池

※（第2、4週は休診）

病理診断科

質の高い医療を提供するため縁の下で支えています。

当科の特徴

病理診断科では、各診療科から提出される検体の組織学的診断や細胞学的診断を行っています。病理診断は疾患の最終診断になることが多いので、治療方針の決定や治療効果判定にとって重要な役割を持ちます。診療の前面に出ることは少ないので質の高い医療の提供において不可欠な存在です。

最近では組織における遺伝子異常や分子発現の検索が重要視されており、遺伝子異常に応じた治療の選択や分子標的治療等の適応決定にも病理診断の役割が拡がっています。

病理診断・細胞診断は臨床検査技師が作成する組織標本・細胞診標本を顕微鏡で検鏡して診断を行っています。細胞診断は細胞検査士の資格を有する臨床検査技師がスクリーニングを行うことでダブルチェック体制を敷いています。

当院での診療内容としては組織診断が年間約3,000件、術中迅速診断が年間約70件、細胞診断が年間約6,700件となっています。婦人科からの検体が割合として最も多く、そのほか消化器内科、呼吸器内科、外科、乳腺甲状腺外科、口腔外科など幅広い診療科からの検体を診断しています。

当院における病理診断科の医師は1名のため、病理診断が難解な症例などは筑波大学附属病院をはじめとする近隣の病理医へのコンサルテーションを行うなどして、より正確な病理診断となるように努めています。

スタッフ（令和5年4月現在）

近藤 譲（研究検査科長）
（診療）病理診断全般、細胞診断全般（専門）乳腺疾患
日本病理学会 病理専門医
日本臨床細胞学会 細胞診専門医

診療科より医療機関の皆様へ

適切な病理診断が質の高い医療に繋がり、患者さんの利益や地域医療に貢献すると考えています。
今後ともよろしくお願いいたします。



麻酔科

いつも安全第一を心がけています。

当科の特徴

当院の麻酔科では、常勤麻酔科医4名全員が麻酔専門医を取得しており、全ての患者さんが麻酔に熟練した医師によって麻酔管理を受けることができます。また、麻酔科医から講習を受けた看護師が術後疼痛ケアに当たりますので、安心して手術を受けて頂くことができると思っております。なお、術前外来は毎日午前中に予約制で行っています。専門の看護師とともに丁寧に病歴の聴取や事前説明を行っています。また内服薬については当院薬剤部の薬剤師の協力を得て確実に確認を行い、患者さんに安心して手術に臨んで頂けるよう努めています。

対応疾患と診療内容（診療実績を含む）

筑波大学が霞ヶ浦医療センターに麻酔科を設置する前、今から10年前（2011年当時）の年間手術件数は約1,300件、全身麻酔は930件でした。現在、霞ヶ浦医療センターでは、年間約2,500件の手術を行っています。このうち、麻酔科で管理している全身麻酔及び一部の神経ブロック症例は、約1,500件ほどになります。診療科の内訳は、手術件数の多い順に産婦人科・整形外科・一般外科・乳腺甲状腺外科・歯科口腔外科・泌尿器外科・形成外科です。

外科技術の進歩の一方で人口の高齢化により麻酔の難しさは、日々様々な課題を麻酔科医に突きつけていますが、とにかく安全に配慮し、地元の方々の期待に応えたいと願っております。

スタッフ（令和5年4月現在）

福田妙子（筑波大学附属病院 土浦市地域臨床教育センター 教授）

麻酔指導医、麻酔専門医、麻酔標榜医

西川昌志（麻酔科部長） 麻酔専門医

藤倉健三（医長） 麻酔専門医

岩佐 武（医員） 麻酔専門医



診療科より医療機関の皆様へ

麻酔科は直接受け入れを陰ながら支えることで、貢献して参りたいと考えています。

認知症や発達障害などハンディのある患者さんでも、全身麻酔によってより安全に充分な治療を受ける道が開かれます。多くの患者さんにとって、手術は心にも身体にも大きな負担となります。麻酔科は、その負担を少しでも軽くするために努力を続けたいと考えていますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

糖尿病・代謝内科

糖尿病を中心に患者さんに寄り添った丁寧な医療を心掛けます。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

当科では、糖尿病を中心として、脂質異常症、バセドウ病、橋本病などの甲状腺疾患などを診察しております。外来では月、水、金は当院代謝内科医師（糖尿病専門医）が、火曜日午前中は筑波大学附属病院内分泌代謝・糖尿病内科の医師が担当しています。糖尿病療養指導士を中心に糖尿病専門医、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士がチームを組んで患者さんの療養指導に当たっています。インスリン、GLP-1受容体作動薬などの自己注射療法、自己血糖測定の導入、間歇スキャン持続グルコース測定（リブレ）の導入と解析を行っています。インスリンポンプ療法が必要な場合は施設基準を満たす病院に依頼させて頂いています。血糖コントロール教育入院に関しましては、対応出来る患者さんについては総合診療科などの内科系医師の協力の下、一緒に診察をさせて頂いております。また、外科系の患者さんの周術期の血糖コントロール、産科と連携した妊娠糖尿病の管理も行っています。内分泌疾患が疑われた場合、外来で出来る範囲の精査をさせて頂き、さらなる精査治療が必要な場合、筑波大学附属病院内分泌代謝内科・糖尿病内科や土浦協同病院代謝内分泌内科をご紹介させて頂いております。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 前	○渡邊	○佐藤	○渡邊		○渡邊（10:30～）

※○は予約制、ただし再診の方に限り予約外も診察可。

腎臓内科

慢性腎臓病（CKD）は自覚症状がないことが多いので定期的な尿・血液検査が大切です。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

- 尿蛋白・尿潜血が陽性となる検尿異常から、胃炎、ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症、遺伝性腎疾患、腎不全まで幅広く診療しております。
- 糖尿病、高血圧、肥満といった生活習慣が関わって腎機能が低下する方も多いので、医師・看護師による指導のみではなく、管理栄養士による栄養指導、薬剤師による服薬指導、理学療法士によるリハビリテーションなど多職種の医療スタッフによるチーム医療を行っております。
- 血液透析、腹膜透析、腎移植は当院では行っておりませんが、必要な場合は実施可能な医療機関へご紹介いたします。また、当院各診療科筑波大学附属病院・東京医科大学茨城医療センター・土浦協同病院などの基幹施設、地域のかかりつけ医と連携して適切な医療をご提供できるよう心掛けております。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午 後		○山口 ※隔週		○甲斐	

※○は予約制

血液内科

血液疾患の診断を主に対応しております。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

週1回の診断になりますので、加療が必要な場合は、より高度な医療機関へ紹介させていただいております。

小さな異常でも、お気軽にご紹介いただければと思います。

〈対応疾患〉貧血、血算異常、血液疾患一般

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午前				○楳島	

※○は予約制

放射線治療科

副作用の少ない適正な放射線治療を施行します。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

20年以上の経験のある放射線治療医と専任の技師が、放射線治療の適応がある全てのガンに対して迅速に対応します。

照射の方法を工夫することで、少しでも副作用が少なくなるように努力しています。

放射線診断科

患者さんのお役に立てるように頑張ります。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

主に CT や MRI といった画像検査の読影を行い、レポートを作成しています。

直接患者さんに接する機会は少ないですが、主治医の先生を補助する形で患者さんの治療に貢献出来るよう、日々業務に励んでいます。

また、消化器内科と協力して TACE といったカテーテル治療を行っています。

皮膚科

年齢、性別を問わず幅広く診療しています。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

日常生活でよく見られるアトピー性皮膚炎やニキビ、蕁麻疹などの疾患に加え、帯状疱疹や蜂窩織炎などの感染症やウオノメ、イボなど幅広く皮膚疾患を診療しています。

必要に応じて他科と連携し、患者さんのご希望に添った医療を提供できるよう心掛けております。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午後 (13:30~15:30)	非常勤医師		非常勤医師		非常勤医師

心臓血管外科

心臓手術後の患者さんの治療管理も行っています。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

成人心疾患及び血管疾患に対応しています。

手術が必要な患者さんは、筑波大学附属病院に紹介させて頂き、手術が受けられるよう対応させて頂きます。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午後 (13:00~15:00)			第2・4週 坂本		

呼吸器外科

丁寧な診療を心掛けています。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

筑波大学附属病院より、担当医が週1回外来を行っています。

肺癌や胸腺腫などの悪性疾患を含む肺腫瘍、縦隔腫瘍や自然気胸、膿胸などを対象に診療を行っています。

手術が必要となった場合は、筑波大学附属病院へ紹介させていただき対応をしています。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午前			北澤		

耳鼻咽喉科

みみ、はな、のどの症状に対応致します。

当科の特徴・対応疾患と診療内容

耳鼻咽喉科疾患全般に対する診療を行っています。鼻腔や咽頭（のど）の内視鏡検査や聴力検査など各種検査を用いた診断や治療を行っています。

当院耳鼻咽喉科は、非常勤体制であり、入院治療や手術等が必要な場合は近隣医療機関と連携して診療致します。

外来スケジュール（令和5年4月現在）

	月	火	水	木	金
午前	筑波大医師		筑波大医師		
午後 (13:30~15:00)	筑波大医師		筑波大医師		

薬剤部

薬剤部の紹介

当薬剤部では、薬剤部長、副薬剤部長、主任薬剤師2名、薬剤師6名、薬剤補助員2名の計12名で業務を行っています。業務内容は、調剤、薬剤管理指導、病棟薬剤業務、医薬品情報、医薬品管理、院内製剤、注射薬混合調製、チーム医療への参画（感染制御、栄養サポート、緩和ケア、術後疼痛管理、心リハ、排泄ケア、認知症サポート）、治験等と多岐に渡っています。それぞれの業務は、患者さんを中心として医師や看護師など他の医療スタッフと連携して、患者さんに信頼される質の高い安全で安心な医療を提供することを目指しています。緩和ケア医療においては、2020年3月に緩和医療専門薬剤師研修施設認定を取得しており、緩和ケア医師、認定看護師、緩和医療指導薬剤師、栄養士が主なチームメンバーとなり、定期的なカンファレンスや病棟ラウンド、退院支援などチーム医療として活動しています。

専門認定薬剤師数（令和5年4月現在）

緩和薬物療法認定薬剤師 1名

NST専門療法士 2名

スポーツファーマシスト 2名

認定実務実習指導薬剤師 3名

薬剤師研修センター認定薬剤師 1名

周術期管理チーム認定薬剤師 2名

研修施設等（令和5年4月現在）

薬学生実習研修施設

緩和医療専門薬剤師研修施設

プレアボイド報告施設

令和4年度業務実績

院外処方せん発行率

約92%

高カロリー輸液無菌製剤件数

約36件／月平均

入院処方せん枚数

2,595枚／月平均

抗がん剤調製件数

182件／月平均

注射せん枚数

4,706枚／月平均

治験実施件数

5件

薬剤理指導件数

554件／月平均

持参薬鑑別件数

302件／月平均

医療機関の皆様へ

当院では、地域の医療機関・保険薬局と連携し、安全で質の高い医療を提供するため標準的なレジメンをホームページで公開しています。

がん化学療法をはじめ、入院中に使用した薬剤についてはお薬手帳に添付されたシールをご参照ください。



放射線部門

X線検査に加え、MRI検査、RI検査、放射線治療を行っております。

放射線部門の紹介

当部門は放射線技師10名、受付2名の計12名で構成され、一般撮影装置、X線透視装置、CT、MRI、血管造影装置、核医学撮影装置、乳房撮影装置、歯列撮影装置、骨密度測定装置、放射線治療装置計14台を有しております。令和3年度は一般撮影装置2台、乳房撮影装置の更新を行い、新しくなっております。MRI装置は令和元年度バージョンアップを行い最新のソフトを有しております。また、MRIには専門的な知識を持つ磁気共鳴専門技術者が2名おり、さまざまな検査に対応しております。乳房撮影に関しては健診マンモグラフィ撮影診療放射線技師認定を持つ女性技師が2名おり、装置も更新されたことにより高画質の画像を得ることが出来ます。核医学検査は各種講習を受けた1名の担当技師があり、多岐に渡った種類の検査に当たっております。

医療機関の皆様へ

当部門では各種検査に対応しております。特にCT、MRI、RI（核医学）検査を主としてお受けしております。

64列のマルチスライスCT装置は、全身の病変や骨折検索の他、心臓血管系やインプラントCTなどの特殊な撮影も行っています。結果はお急ぎの場合は翌診療日にお伝えすることができます。

MRI検査は強力な磁場を利用し、人体をいろいろな断面に画像化する装置になります。脳や脊髄、内臓、筋肉、関節、血管などの詳細な情報が得られます。また、X線を利用しないため被ばくの影響はありません。その際MRIでは特に金属持ち込みが禁忌となっております。検査ご依頼の際は患者さんの安全のためぜひ、体内、体外の金属チェックをよろしくお願いいたします。

RI検査は形態画像検査とは異なり機能検査となります。検査内容、目的に合わせ、同位元素を用いた薬剤で検査を行いますので、キャンセル等は前日15時まで承ります。主に、骨、脳血流、MIBG心筋シンチ等を行っており、結果は、他モダリティ同様3～4診療日で返信しております。

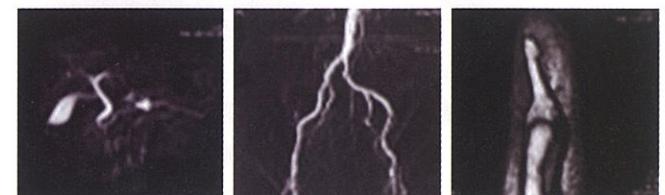
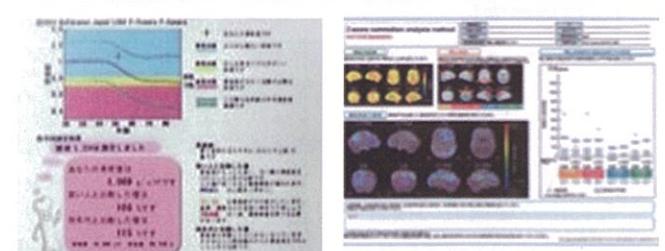
乳房撮影（マンモグラフィ）は乳がん検診から精密検査およびフォローアップを含め、認定資格を有する女性技師が撮影を行っております。画像はフィルムおよびCD-Rにて当日のお渡し（読影結果は含まれない）にも対応しております。

放射線治療は直線加速器（リニアック）を用いた外部照射を行っております。癌の根治を目的としたものから術後の再発予防のための照射、骨転移に対する疼痛緩和目的の照射など幅広く対応しております。他院様からの放射線治療のご依頼も承っておりますので、当院地域医療連携室まで（TEL:029-826-7556）ご相談ください。

令和4年度の診療実績

検査等	件数
CT	7,780
MRI	4,372
RI	427
放射線治療	2,690
上記を含めた合計	40,960

検査画像紹介



臨床検査部門(研究検査科)

臨床検査部門の紹介

研究検査科では、血液や尿、便、髄液等の各種検体検査および、心電図、超音波、肺機能、筋電図、脳波、聴力検査等の生理機能検査、細菌検査、病理細胞診、組織診検査を行っています。また、外来患者さんの採血業務は研究検査科主体で運営しています。これらの検査を行い、正確な検査情報を迅速に医師へ提供することで、病気の診断、治療の一端を担っています。また、チーム医療として、NST(栄養サポートチーム)、心臓リハビリテーションチームにも参画しています。その他にも、糖尿病教室や院内感染予防対策に積極的に協力し、治験における検査業務も行っています。

また、通院されている地域の医療機関にて、当院での検査が必要と判断された場合、医療機関からの依頼によりホルター心電図や超音波検査等の検査を受けることができます。

科員は、検査科長1名、臨床検査技師長1名、副臨床検査技師長1名、主任臨床検査技師3名、臨床検査技師10名(常勤8名・非常勤2名)、助手2名で構成しています。

医療機関の皆様へ

【検体検査】

患者さんから採取された血液や尿などの成分を調べて病気の診断や治療方針に必要な多くの生体情報を24時間・365日体制で正確かつ迅速に提供しています。また、輸血部門は血液型、不規則抗体などの判定や輸血を行う際の交差試験を実施するとともに、血液製剤の適正管理にも努めています。

【病理検査】

病理組織検査・細胞診検査・病理解剖を常勤病理医と細胞検査士の資格を持つ臨床検査技師で行っています。組織検査は年間約3,000件あり、術中迅速病理診断も行っています。細胞診検査は年間約6,500件で、婦人科検体が全体の8割を占めています。

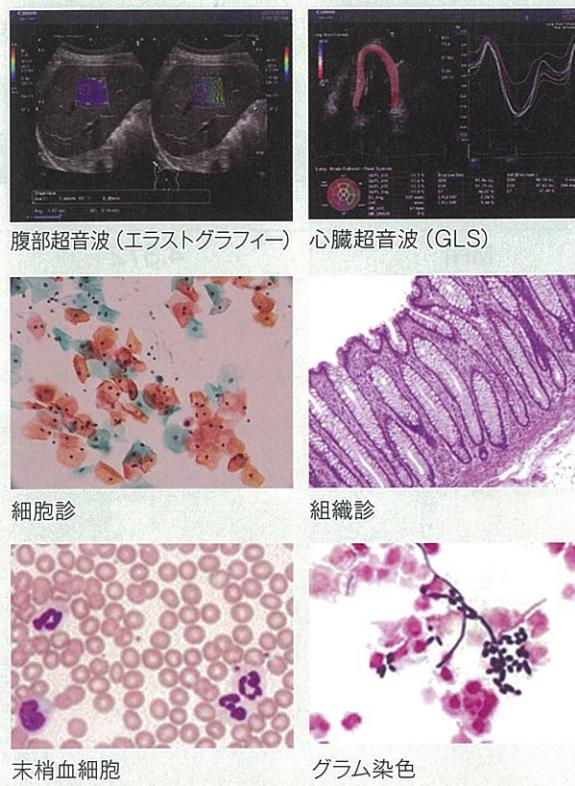
【細菌検査】

一般細菌については自動分析装置を用いて細菌の同定及び薬剤感受性試験を行っています。LAMP法(簡易PCR)にて結核菌および新型コロナウィルスの遺伝子検査を行っており、至急の際には結核菌は2時間以内、新型コロナウィルスは1時間以内に報告しています。

【生理検査室】

年間5,000件を超える超音波検査を実施しています。循環器・消化器・体表領域の認定超音波検査士が在籍し、心臓・腹部・泌尿器・甲状腺・乳腺・血管など様々な領域の検査が可能です。腹部超音波では肝臓領域でエラストグラフィーを使用し慢性肝疾患による肝臓の硬さ(線維化)を計測することも可能です。超音波以外にも心電図、トレッドミル運動負荷試験、心肺運動負荷試験、ホルター心電図、血圧脈波、呼吸機能、脳波、神経伝導速度も実施しています。

検査画像紹介



栄養管理室

栄養管理室の紹介

基本理念

栄養管理室はチーム医療の一翼を担う部門として、食事の提供と栄養指導の実践をおおして治療に貢献します。

基本姿勢

- (1) 個々の患者さんに適した治療食を提供すること
- (2) 病院食は個々の希望、季節感(食文化)を取り入れた食事であること
- (3) 病院食はおいしく且つ安全な食事であること
- (4) わかりやすく、信頼される栄養指導を行うこと

スタッフ

管理栄養士3名
非常勤管理栄養士1名
調理師4名

非常勤事務員1名
委託職員19名

医療機関の皆様へ

栄養管理室では、栄養食事指導が必要な患者さんをご紹介いただき、管理栄養士が生活習慣病及び他の疾患について病状や生活様式に合わせた細やかな相談・指導を行う「地域連携栄養食事指導」を実施しています。是非ご利用下さい。

特別メニュー写真



リハビリテーション部門

リハビリテーション部門の紹介・診療実績

当院のリハビリテーション科には理学療法士9名、作業療法士3名、言語聴覚士1名が在籍しています。算定単位数としては運動器リハビリが最も多く、次いで心大血管リハビリ、呼吸器リハビリとなっていますが、当院のほとんどの科から処方をうけ急性期疾患を中心にリハビリテーションを提供しています。また、多職種カンファレンスを行い、患者さんごとの安全かつ効果的なプログラムを個別に作成しリハビリテーションを実施しています。

医療機関の皆様へ

幅広い疾患に対応しておりますが、特に循環器疾患においては心肺運動負荷試験の検査結果に基づいた安全かつ効果的な運動が可能です。整形外科については、スポーツ整形に加え、特に、腱板断裂を中心とした肩関節疾患のリハビリテーションに力を入れ取り組んでいます。また、リンパ浮腫に対するリンパマッサージにも対応しています。科内勉強会や専門資格の取得、学会発表などにより、質の高いリハビリテーションを提供できるように心がけております。リハビリテーションの受診を希望される患者さんがおられましたら、当院の各診療科までご相談下さい。

主な資格

理学療法士

- ◎呼吸療法認定士 ◎心臓リハビリテーション指導士
- ◎心不全療養指導士 ◎リンパ浮腫療法士
- ◎リンパ浮腫保険診療士

作業療法士

- ◎生活行為向上マネジメント研修終了
- ◎骨盤底筋エクササイズ「pfilAtes」認定インストラクター

言語聴覚士

- ◎日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- ◎特別支援学校自立活動教諭一種免許状 言語障害教育

※がんのリハビリテーション研修は全員受講終了

医療機器・スタッフの写真など



臨床工学室(ME)

臨床工学室(ME)の紹介

患者さんのため、チーム医療の一員としてME機器の操作や保守管理を担っています。



ME室



ペースメーク手術

当院ME室の主な業務

①中央管理業務

- ◎輸液ポンプ ◎シリンジポンプ ◎PCAポンプ
- ◎人工呼吸器 ◎ネーザルハイフロー ◎除細動器
- ◎体外式ペースメーカー ◎IABP ◎閉鎖式保育器

②循環器系業務

- ◎心臓カテーテル検査治療
- ◎植込み型心臓不整脈デバイス管理(各種測定やプログラミング)
ペースメーク外来
ペースメーク手術
CIEDs(ペースメーク、ICD、CRT) EMI 対応
カテーテルアブレーションに関する業務

③呼吸器系業務

- ◎人工呼吸器管理、ネーザルハイフロー管理(使用中点検ラウンド、回路交換等)

④その他

- ◎依頼に応じてME機器に関する各種対応

スタッフ

主任臨床工学技士 西宮宏明

主な認定資格

- 平成6年 第2種ME技術実力検定
- 平成21年 医療機器情報コミュニケータ
- 平成28年 心電図検定1級
- 令和2年 植込み型心臓不整脈デバイス認定士
- 令和3年 CPAP療法士上級者

看護部

看護部の理念

常に患者さんの立場に立ち、
親しみの心、理解する心、お役に立つ心、謙虚な心、感謝する心をもって対応し
あたたかい看護を実践します

チーム医療における看護活動に取り組んでおります。お気軽にご相談ください

▶ 医療安全対策推進チーム

医療事故の予防を推進し、患者さんに安全な医療サービスを提供することを目的としています。医療安全対策委員会、セーフティマネージャー部会といった医療安全に関連した委員会と連携を図り、院内の事故防止活動を通じて患者さんやご家族、職員の安全を確保し、医療の質を保証するための活動を行っています。

▶ 感染対策チーム

専従感染管理認定看護師、感染管理医師、薬剤師、検査技師が週1回院内を巡回し、手指衛生の実施状況の評価や個人防護具の適切な使用に関する教育やチェックを行うなど、全職員の感染防止策の習慣化を目指した取り組みを行っております。万が一院内感染が発生した場合でも、多職種が連携し速やかな対応で拡大を防ぐ体制も整えています。

▶ 褥瘡対策チーム

皮膚・排泄ケア認定看護師、医師、病棟リンクナース、薬剤師、栄養士、事務の多職種メンバーで構成されています。週に1回、褥瘡を保有している患者さんの回診を行い、褥瘡の治療・評価及び褥瘡ケアの実践指導を行っています。また、褥瘡発生リスクの高い患者さんに対し、適切な褥瘡予防対策を行い、新規発生予防を目指して活動しています。

▶ 栄養サポートチーム・摂食・嚥下障害看護

多職種で様々な視点から栄養状態の改善、悪化の予防に取り組んでいます。またNSTメンバーの中には口腔外科医師もあり、口腔内の問題にも対応しています。さらに今年度より「嚥下サポートチーム」も立ち上げ、嚥下機能を評価し、食形態の調整や摂取方法の検討、嚥下訓練を実施し「美味しく食べる」をサポートしています。

▶ 認知症サポートチーム

認知症看護認定看護師、脳神経内科医師、薬剤師、社会福祉士で構成されており、週2回の病棟回診を行っています。病棟看護師と連携を図り、入院前の生活習慣の理解、本人の思いや不安などを傾聴し安心して療養していただけるよう環境の調整を行っています。また、多職種で協働・連携することで患者さんが専門的医療を受けられるように支援しています。

▶ 緩和ケアチーム

緩和ケア認定看護師、緩和ケア医師、緩和薬物療法認定薬剤師、栄養士、病棟コアナースがチームとして月2回話し合いを行い、当院かかりつけの患者さんとご家族をサポートできるよう関わっています。患者さんとそのご家族の心身の苦痛を緩和することで、その人らしく生きていくことができるような支援を目指しています。



▶ 退院支援リンクナース

入院前から入院中に必要な支援を患者さんと共に考えサポートしています。また、週1回退院支援カンファレンスを実施し、院内外の多職種と連携して、退院後の生活者として必要なサポートができるよう取り組んでいます。社会的・経済的な事柄については、社会福祉士が担当し相談をお受けしています。

▶ 排尿ケアチーム

泌尿器科医師、排尿ケアチーム看護師、病棟リンクナース、理学療法士、薬剤師、医事課職員がチームとして月1回の部会と週1回の病棟ラウンドを行っています。尿路感染や寝たきり予防のために、膀胱留置カテーテルを早期に抜去し、排尿の自立を促進することで、患者さんの尊厳を守ることを目的に活動しています。具体的には、入院患者さんの下部尿路機能の評価を行い排尿ケアの計画を立案し実施評価を行っています。

▶ 慢性呼吸器疾患看護

慢性呼吸器疾患看護認定看護師が、主に、慢性呼吸不全による在宅酸素を導入する患者さんに対し、実際の生活に合わせた呼吸法や機器の取り扱いなどを説明しています。呼吸器内科医師および理学療法士との連携を図りながら、患者さんが安心して医療・看護が受けられるよう支援しています。

▶ 慢性心不全看護

慢性心不全看護認定看護師が、心不全で入院された患者さんとそのご家族に対し心不全増悪の要因の評価およびモニタリングを行っています。定期検査、増悪期、終末期に応じた生活調整およびセルフケア支援を行うことで、在宅で自分らしく生活できるように、多職種と連携し支援しています。

▶ 糖尿病療養指導士

代謝内科外来で週4回活動しています。医師、栄養士、薬剤師と連携を図り、食事指導やインスリン注射、自己血糖測定の指導を実施しています。糖尿病ケアの向上を目指し勉強会の開催なども行っています。患者さんが自己ケアを継続的に行えるよう、生活背景に寄り添った療養指導を目指しています。

▶ 助産師外来・産後ケア・母乳外来

助産師外来は、産後うつ予防や早期発見・育児支援を目的に、助産師が産後2週間に産後の身体の経過、精神状態や育児状況を確認し、支援が必要な方には行政と連携をしています。産後ケアは、母親の身体的な回復と心理的な安定、母子と家族の健やかな育児の支援を目的に、身体的・心理的・社会的ケアをしています。



筑波大学附属病院 土浦市地域臨床教育センター

医療の未来を託す人材育成のため、今できることに全力を尽くします。

これまでのあゆみと実績

土浦市地域臨床教育センターは、平成23年12月に土浦市と筑波大学及び国立病院機構の間で寄附講座開設協定の締結が行われたことに基づき、平成24年4月からスタートしました。当初は呼吸器内科、整形外科、循環器内科の3診療科で始まりましたが、その後平成27年度から麻酔科と消化器内科が加わり、5診療科による現在の形となりました。

このセンターの目的は、地域医療を盛り上げると同時に、将来を担う医師の育成を筑波大学附属病院と協力して行っていくことにあります。学生のうちから、地元の医療現場に触れて大学病院の中では見えない様々な課題を見つけ、自分の将来のテーマあるいは医師像形成の過程に組み入れてもらえたと考えています。

さて、これまでの実績ですが、当初は数名でしたが筑波大学の医学生クリニック・クラークシップを毎年受け入れ、その数は年々増えています。直近の学生実習受け入れ数は、延べ64名となりました。最近はCOVID-19の影響で、やむを得ず実習受け入れができない時期もありましたが、なんとか継続して学生実習を続けることができたことは、大きな喜びであります。

研修医については、一度途絶えていた基幹病院としての研修医育成を平成30年度から復活させることができました。まだ、基幹病院としての活動は細々としたものですが、徐々に定員数を上回る応募者が出たことは明るい材料と考えています。筑波大学附属病院・筑波メディカルセンター・水戸医療センター・茨城西南医療センター病院など多くの病院から研修医を受け入れ、協力型病院としての活動も引き続き頑張っていこうと考えています。

医療機関の皆様へ

精神科研修をお引き受けいただいている土浦厚生病院、救急や小児科研修をお願いしている筑波メディカルセンター、地域医療研修を支えていただいている烏山診療所・淀縄病院・しほう医院・ゆみこ内科クリニックの皆様、いつも本当にありがとうございます。

多くの方々のご支援によって、土浦市地域臨床教育センターが成り立っていることを忘れず、地元に愛着を持つてくれる医師を一人でも多く育成していくことを目標に頑張っていきますので、今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



人間ドック

定期的な健康チェック、病気の早期発見のために

平成29年度から人間ドック・脳ドックを始めました。3種類の基本コースと追加オプションがあり、午前や午後のみですべての検査を受けていただける「半日ドック」をご用意しております。国民健康保険、後期高齢者医療制度にご加入の方は、各市町村にてドック助成制度を受けられ、約半額にてご利用になれます。定期的な健康状態の確認、病気の早期発見のために是非ご利用ください。

ご予約はこちらへ

霞ヶ浦医療センター人間ドック担当

TEL 029-822-5050 (内線 3151)

時間／平日（月～金）午前9:00～11:00

▶ 検診の流れ

受付		午前8:00	午後12:45
▼	検査	午前8:15～	午後1:00～
▼	医師診察	午前10:30～	午後3:00～
▼	終了	午前11:30	午後4:00

医師診察や終了の時刻は目安のお時間です。当日の検査状況により、多少前後することがあります。

▶ 人間ドック・脳ドック 検査項目一覧

検査項目	検査内容	胃内視鏡コース	胃透視コース	脳ドック
①診察・問診	服薬歴・喫煙習慣の状況調査、自覚症状、他覚症状の検査	○	○	○
②身体測定	身長、体重、体脂肪率、BMI、肥満度、腹囲	○	○	○
③聴力検査	1,000Hz、4,000Hz	○	○	○
④眼科検査	視力、眼圧、眼底	○	○	○
⑤血圧	血圧(1回目・2回目)、心拍数	○	○	○
⑥心電図	心電図	○	○	○
⑦胸部レントゲン	2方向	○	○	○
⑧尿検査	尿糖、尿蛋白、尿潜血、尿pH、尿沈渣、尿比重	○	○	○
⑨採血	GOT(AST)、GPT(ALT)、r-GTP(r-GT)、T-BIL(総ビリルビン)、ALP、CHE、LDH、TP(総蛋白)、ALB(アルブミン)、A/G比、HBs抗原、HBs抗体、HCV抗体、TPHA	○	○	○
肝・膵機能検査	T-CHO(総コレステロール)、HDL-C、TG(中性脂肪)、LDL-C	○	○	○
脂質代謝	血糖、HbA1c	○	○	○
糖代謝	CRE(クレアチニン)、BUN(尿素窒素)、eGFR、UA(尿酸)	○	○	○
腎機能検査	WBC(白血球)、RBC(赤血球)、Hb(血色素、ヘモグロビン)、Ht(ヘマトクリット)、MCV、MCH、MCHC、PLT(血小板数)、血清鉄	○	○	○
貧血検査	CRP	○	○	○
炎症性反応	リウマチ因子:RF	○	○	○
リウマチ・膠原病	便潜血検査	○	○	○
⑩便検査	%肺活量、1秒量、1秒率	○	○	○
⑪肺機能	肝臓、胆のう、脾臓、腎臓、腎臓	○	○	○
⑫腹部超音波	胃内視鏡	○	○	○
⑬上部消化管	胃透視	○	○	○
頭部MRI	頭部MRI	○	○	○
頭頸部MRA	頭頸部MRA	○	○	○
頸動脈エコー	頸椎X線直接撮影(2方向)	○	○	○
	金額(税込)	39,600円	39,600円	53,900円

【追加オプション】

検査項目	検査内容	金額(税込)
乳腺超音波(女性のみ)	乳房を超音波で検査します。	4,400円
子宮頸がん(女性のみ)	子宮頸部細胞診で子宮頸がんの発見の手がかりになります。	4,543円
マンモグラフィー(女性のみ)	乳房のX線撮影による検査です。	6,600円
前立腺がん(男性のみ)	前立腺でつくられる特殊な血液中のタンパク質(PSA)を測定します。	2,750円
腫瘍マーカー	がん細胞に対して他の細胞がつくりだす特定のタンパク質や酵素、ホルモンなどを調べます。	5,500円
甲状腺機能検査	甲状腺から分泌されるホルモンの増減で甲状腺の状態を知る検査です。	2,200円
骨密度検査	精密な骨量の検査です。	3,300円

地域医療連携室のご案内

業務内容

地域医療機関より紹介いただく患者さんの予約を主に承っております。

I 診察予約・受付・案内

- i 各科診察予約
- ii 紹介カウンター業務
- iii 平日日中の急患依頼

II 検査予約

- i 画像検査
- ii 上部消化管検査
- iii 生理検査

III 栄養指導

IV その他(研修・懇話会、客員医師登録医制度など)

その他紹介に関することや情報提供依頼などお気軽にお問い合わせください。

直通電話

029-826-7556

直通FAX

029-826-7559

業務時間

平日8:30~17:15

急患のご依頼:17:15以降の時間外や夜間、休日は代表番号 029-822-5050 へご連絡ください。

予約方法 I - i, II - i ii iii, III (①FAXもしくは②電話)

各科診察、各種検査予約、栄養指導のご予約は①FAXもしくは②お電話にて承ります。

①FAX

- 診療情報提供書を地域医療連携室へFAX送信してください。
- 地域医療連携室にて予約取得後、紹介元医療機関様へ予約通知書をFAX送信いたします。
- FAX受信した予約通知書と診療情報提供書を患者さんへお渡しください。

②お電話

- 地域医療連携室へご連絡ください。
- 患者情報等確認し、予約日時をご案内いたします。
- 予約通知書を地域医療連携室より紹介元医療機関様へFAX送信いたします。
- 患者さんへ予約日時等ご案内ください。
- 予約当日にご持参いただく診療情報提供書と予約通知書を患者さんへお渡しください。
- 診療情報提供書を地域医療連携室へFAX送信してください。

I 診察予約・受付・案内(各診療科外来診察、専門外来)

i 各科診察予約

各科診察の事前予約は、紹介元医療機関様からの①FAXもしくは②お電話にて承ります。

診察予約に限り、紹介患者本人もしくはご家族からのお電話でも予約日時を調整させて頂きます。

診療科や専門外来の診療日につきましては別紙外来診療担当医一覧表をご参照ください。

ii 紹介カウンター

地域医療連携室(前方)では、紹介カウンターを設置し、紹介患者さん専用に受付を行っております。(平日8:30~11:00、11:00以降は総合受付②番窓口にて受付いたします) *地域の先生方より紹介いただく患者さんのスムーズな受診を心がけております。

iii 平日日中の急患依頼

業務時間内の紹介急患のご依頼は地域医療連携室までご連絡ください。

II 検査予約

放射線画像検査、上部消化管内視鏡検査、生理検査予約は、紹介元医療機関様からの①FAXもしくは②お電話にて承っております。

i 放射線画像機器

MRI(単純/造影)

土・日午後(祝日除く)にも、紹介患者予約枠を設けております。

CT(単純/造影)

RI 骨、心筋

X-P

マンモグラフィー
グッドマン・マルチウスなど

骨密度検査(DEXA法)

◎MRI、CT、RI検査申込書:当院ホームページトップ画面よりダウンロードしてご利用頂けます。

◎MRI、CT造影検査の場合:クレアチニン値が必要となります。(検査日より3か月以内のもの)

◎緊急撮影や緊急読影のご要望は地域医療連携室受付担当者へお伝えください。可能な範囲で対応させていただきます。

◎画像データと画像診断報告書:フィルムあるいはCD-Rで紹介元医療機関様へ郵送いたします。(検査日から3~5日以内にお送りするよう努めています。)

◎MRI土日検査予約について:撮影可能範囲がございますので地域医療連携室までお問い合わせください。

ii 上部消化管内視鏡検査

上部消化管検査のみご予約をお取りします。(経口内視鏡) 予約のお申し込みは専用の検査申込書をご利用ください。予約日時調整については①FAXもしくは②お電話にて承っております。

◎上部消化管検査同意書の取得をお願い致します。(予約時にFAX送信致します。(検査当日診療情報提供書と一緒にご持参ください))

◎検査予約日時確定後、検査の予定表(バス)をFAX送信いたします。食事制限や、必要な方は休薬の説明をお願い致します。

◎下部消化管内視鏡検査のご依頼は、まず消化器内科診察予約をお取りください。

iii 生理検査

超音波

心臓、頸部、乳腺、甲状腺、腎動脈、下肢動脈・静脈、
腹部(消化器系・泌尿器系)

心電図

ホルタ一心電図、トレッドミル、心肺負荷運動試験

24時間血圧計

脳波

呼吸機能検査

神経伝達速度検査

◎超音波検査部位によっては食事制限などがございます。各検査ご案内をご確認ください。

◎生理検査用の検査申込書兼診療情報提供書をご用意いたしております。

III 栄養指導のご予約

内科的な要因での栄養指導と、妊娠中の妊婦さんを対象とした栄養指導を承っております。ご予約は紹介元医療機関様からの①FAXもしくは②お電話にて承っております。

栄養指導依頼書兼診療情報提供書の専用書式をご用意いたしておりますので、ご入用の際は地域医療連携室へご連絡下さい。地域医療連携室より発送いたします。(内科用・産科用をお申し付けください)

IV その他ご案内

当院は平成20年に茨城県知事より地域医療支援病院名称使用の承認を受けております。地域の中核病院として専門的で高度な医療、安心かつ安全な医療の提供、医療機器の共同利用を通じて、地域住民のかかりつけ医として貢献されておられる先生方の日々の診療の一助となるべく病院職員一丸となり日々精進いたしております。

地域医療連携室は前方(紹介患者さんのお受入れ)と後方(退院調整)の2部門でスムーズな医療連携を目指し業務を行っております。また地域医療支援病院の役割でもある地域医療のレベル向上のため、地域の医療従事者を対象とした研修や懇話会を開催いたしております。さらに当院では、「客員医師登録医」制度を設けており、客員医師ご登録の先生方には研修や医療連携懇話会開催について、機関紙「診療だより」などでお知らせいたしております。客員医師登録制度は、医師単位のご登録です。ご登録をご希望の際には地域医療連携室までご連絡をお願い致します。

紹介患者さんのご予約に関するご質問、客員医師登録に関するご質問、研修・懇話会に関するご質問、その他お気軽にお問い合わせ下さい。

ACCESS MAP



[電車でご来院される場合]

JR上野駅から常磐線下り方面乗車 土浦駅下車 普通で約70分・特急で約50分

[バスでご来院される場合]

●JR常磐線土浦駅、西口より駅前バスターミナル6番乗り場より
関東鉄道バス『桜ニュータウン又は水海道駅』行き乗車(約10分)『国立病院入口』下車

●JR常磐線・土浦駅西口より駅前バスターミナル3番乗り場より
キララちゃんバス『Bコース:亀城公園循環(右回り)』に乗車(約5分)『霞ヶ浦医療センター』下車

[タクシーでご来院される場合]

JR常磐線土浦駅より片道 約800円～900円

[お車でご来院される場合]

常磐高速道路 : 桜土浦インターから約10分(5km)・土浦北インターから約15分(7km)・つくば駅から約20分(10km)



①土浦祇園まつり ②病院敷地内 ③土浦全国花火競技大会 ④かすみがうらマラソン ⑤⑥病院敷地内 ⑦流鏑馬まつり

独立行政法人 国立病院機構

霞ヶ浦医療センター



〒300-8585 茨城県土浦市下高津2丁目7-14
TEL: 029-822-5050 FAX: 029-824-0494
HPアドレス <https://kasumigaura.hosp.go.jp>